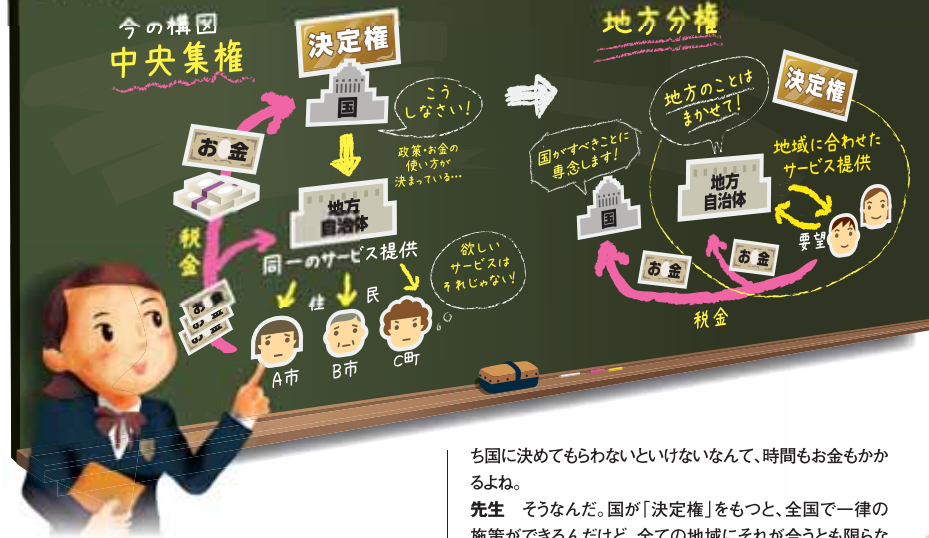


自分たちのことは自分たちで決める



先生! 「地方分権」をするとどうなるんですか?

先生 う〜ん、まずはじめに今の国と地方の関係から確認してみようか。ここでキーワードとなるのは「お金」と「決定権」です。よく覚えておいてね。

例えば、これから学園祭の出し物を決めるとしよう。クラスには歌が上手な人が多いから、「みんなで合唱」と話していたのに、もし校長先生が各クラスの出し物を勝手に決めてしまったら、みんなは「分かってないな〜」と思うよね。実は国と地方の間でも同じようなことが起こっているんだ。

山本 それってどういうことですか?

先生 今の政治の仕組みは「中央集権型」といって、政策に関する「決定権」のカードを国がもっているんだ。だから私たち府民が「こんなまちにしたい!」という提案を大阪府にしたとしても、国に聞かないと決められないことが多いんだ。府民の税金だって、多くは国に納められていて、国が使い方を決めるから、府民が望んでいることとは違う使い方になることもあるんだよ。

中村 まちのことは、自分たちが一番知っているのに、いちい

ち国に決めてもらわないといけないなんて、時間もお金もかかるよね。

先生 そうなんだ。国が「決定権」をもつと、全国で一律の施策ができるんだけど、全ての地域にそれが合うとも限らないからね。

田中 じゃ、国の「お金」をもうちょっとこっちにもらって…、ついでに「決定権」のカードももらっちゃえば?

山本 それ名案!

先生 うん、いい考えだね。「お金」と「決定権」を国から地方に移して、地方自治体が地域の要望に合わせた施策を行う。これがまさに「地方分権」の考え方なんだ。

中村 あれ? でも、そしたら国は何をするんですか?

先生 国にはやるべきことがある。外国とどうつきあうか、国をどう守るかとか…。地方のことは地方自治体で、国のことは国で、お互いに役割分担することで、それぞれの仕事に専念できるようになるんだ。

山本 地方自治体が「お金」と「決定権」をもつとどんなことができるのかな…。

先生 教育や保育、環境など、いろんな分野で地域の特性に合わせた施策を自分たちで決めることができるようになるよ。例えば会社が払っている「法人税」を下げることで、アジアの元気な会社を誘致して経済を活性化するという独自の取り組みなんかも可能になるんだ。

山本 それってすごい! でもそれぞれの地域で何でも決めちゃって大丈夫かなあ?

日本がバラバラになっちゃうんじゃない?

中村 そうねー、大きな市も小さな村もあるし…。地域どうし一緒にやってもいいことがあるんじゃないかなあ?

先生 そうだね。そこで考えられているのが「道州制」なんだ。これは日本を都道府県より広域の道・州に分け、より広い視点から行政サービスを行おうというものなんだ。ちょっとこの地図を見て。川や道路はいくつかのまちをまたがっているよね。今はそれを府や市町村で別々に管理しているんだけど、それぞれに人もお金も必要だから、ムダでしょ?

田中 そっか! 広域で管理すればムダが省けるんだ!

先生 それだけじゃないよ。例えば橋下知事がめざしている「関西州」が実現すれば、オランダ1国分の規模の自治体が誕生するんだ! だから、関西の府県の力を集めることで、より戦略的・広域的に地域の力を高めることができるんだ。関西地域にたくさんある先端医薬品や医療機器などの研究機関や企業を一つに繋いで、世界に肩を並べるハイオ産業拠点にしようという構想もすすめられているんだよ。

山本 すごい! どの地方にもそれぞれのところがあるから、その特徴を生かした国(道州)づくりができるんじゃないですか?

先生 そう。それぞれの地域、そして地方がその独自性を



大阪発! 改革2大キーワード

① 地方分権改革ビジョン
2009年3月に府が発表。国から地方へ102の仕事を譲ること、府が市町村に渡すお金の使い道を国から指定されず、自由に使えるようにするなどの方針がまとめられています。

② 関西州
大阪府は国の出先機関の見直しと同時に、府県業務の集約を目的に設置した関西広域連合を拡大し、遅くとも平成30年までに関西州の実現を目指しています。

地方分権や道州制の詳細な情報は… 大阪府 政策企画部 地域主権課 地域主権グループ http://www.pref.osaka.jp/chiiikishuken/tiiki_index.htm ☎06(6941)1705 ☎06(6944)6619 Eメール: chiiikishuken@sbox.pref.osaka.lg.jp

「ご町内の皆様へ」

子育ては、声のかけ愛から

皆さん、こんにちは。昨今の景気衰退や地域の都市化に伴い、子育て中のご家族は経済的にも精神的にもしんどい思いをされています。そこで、私たちのまちは、地域全体で子育て世帯を応援するために、「声かけ」を奨励したいと思います。ここに例をいくつか紹介しますので、ぜひ実践してみてください。「子どもは未来の宝」。皆で見守り育てていきましょう!

声かけ例① 「おかえり! 塾? 夜道に気をつけや!」

地域のお付き合いの基本は、まず「あいさつ」から。「おはよう・さよなら・ありがとう」どんな言葉でもかまいません。府でも「愛さつOSAKA」を推進しています。たとえば、毎日同じ汚れた服を着ている子どもがいいたら、「お母さん具合悪いの?」と聞くことで児童虐待かどうかわかるかもしれませんね。

関府家庭支援課 ☎06(6944)6318
→ 子ども室ホームページ 検索

声かけ例② 「ちゃんと行ってる? 妊婦検診」

妊娠したら出産までに検診を14回受けるのが望ましいのですが、お金もかかるからと受けない人がいます。しかし、HIVや感染症、赤ちゃんの異常、妊娠中毒症などは、自分ではわからないので、見過ごすと大変! 府も費用負担を増やしたり、産婦人科支援等に力を入れているので、ぜひ受診するようすすめましょう。

関府健康づくり課 ☎06(6944)6698

声かけ例③ 「夜も診てくれるところ知ってるで」

夜中に子どもが発熱したりすると不安になってすぐ救急車を呼ぶ人もいますが、みんながそうすると医師も車も足りないから、本当に来てほしいときに来てもらえないかも。まずは、様子を見て、必要なら「休日夜間急病診療所」へ。症状が重かったら救急病院へ。命が危ないと思ったら、ためらわずに救急車を。府も看護師による夜間電話相談等受け付けています。普段からこまめに情報チェックしましょう!

小児救急電話相談 ☎#8000 もしくは 06(6765)3650
病気や医療機関に関する情報はこちら!
→ 大阪救急ナビ 検索

声かけ例④ 「まいど子どもカード使ってる?」

府内の企業などの協力で、5,000店以上の飲食店や施設などで割引や特典が受けられるサービスがあります。18歳以下の子どもがいれば登録できますよ!

【登録方法】① 往復ハガキ⇒住所・氏名・年齢・電話番号、最年少の子どもの生年月日を記入し、下記事務局へ。〒530-8692 郵便事業株式会社 大阪支店 私書箱355号 大阪府子育て世帯応援事務局 ☎06(6452)6188
② 携帯電話・パソコンから http://www.maidokodemo.jp/kosodate02.html

この回覧板は、子育て中の人でもそうでない人も切り取って保存しておいてください。地域や保育園等でまわしてもらってもいいですよ!

- その他のお役立ち情報
- 児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当 府子ども室 ☎06(6944)6675
 - 保育所と幼稚園の機能を併せ持つ新しい形の施設 大阪 認定子ども園 検索 府子育て支援課 ☎06(6944)6984
 - 発達・不登校など子どもに関する相談 大阪 子ども家庭センター 検索 こころのオアシス 検索

夫 あー、こないだのメタボ検診ひっかった!

妻 いつもダメって言ってるのに、ビールと油物ばかり食べるからでしょ! あ、ちょっと見て見て! 今テレビでちょうどメタボのこと話してるわ。

彩都で研究してるんだって!



夫 えっ?! 彩都って… あの大阪の北のほうのヤツかいな?

司会者: では、彩都で研究をされている斉藤さんにお話を聞いてみましょう。日本のバイオテクノロジーは世界から出遅れたと聞きましたが…

斉藤: ええ、それで2004年に「彩都ライフサイエンスパーク」が大阪に誕生したんです。現在ガン治療薬やバイオエネルギーなど約40社が研究を進めています。もともと大阪には道修町の製薬街、大阪大学や医薬基盤研究所など世界最高水準の研究機関、電気や化学などの有力企業、高い技術力を持つ中小企業などが集まっています。そんな大阪の強みを活かして「世界第5位のバイオ都市」を目指しているんですよ。

司: 斉藤さんは、中性脂肪の上昇を抑えるタンパク質を発見されたんですね! メタボ予防のほかに糖尿病や高血圧の予防にも期待されていて、既に国内外で利用されているらしいですね。いつごろから研究されていたんですか?

斉: 2006年に彩都で研究をはじめました。この分野は企業規模に関係なく、独自のアイデアや発明によって新ビジネスになりやすいんです。大阪府も研究者の育成や研究の国際化を支援してくれていて、研究資金も「大阪バイオファンド」を活用させてもらいました。

司: あの10億円を目標に集めているというベンチャー企業向けの基金のことですね。

斉: はい、府や大阪産業振興機構、大手製薬会社などから基金を集め、関係する10団体でつくる「大阪バイオ戦略会議」で具体的な目標や達成指標を設定して行動しています。日本が世界をリードするタンパク質の研究を新ビジネスにつなげるために、府など34の企業と団体が集まって「プロテイン・モール関西」をつくり、共同での研究やプロモーション、ビジネス化を進めているんです!

※プロテイン = たんぱく質のこと

妻 ねえ、聞いた? ほら、また食べてる!!

夫 ま、えーやん。そやけど大阪って結構いけるやん!
妻 あんたはいけてへんけどな… (笑)。

大阪府商工労働部バイオ振興課 ☎06(6115)8100 ☎06(6833)8170
http://www.pref.osaka.jp/bio/index.htm Eメール: contact@osaka-bio.jp

